

週刊 タバコの正体

タバコを吸い続けると、身体の様々なところがダメージを受けますが、煙が充満する口の中も被害を受けます。写真のように喫煙者の歯と歯茎は黒ずみ、舌の表面には汚れが付着しがちです。

これは、下図にあるようにタバコに含まれるニコチンの血管収縮作用のために血管が細くなり血流が悪くなるうえ、白血球の防御機能が低下して炎症が治りにくくなりからです。その結果、歯肉がやせていき、歯肉炎や歯周炎になる可能性が大きくなります。



新潟県福祉保健部健康対策課 健康にいがた21 HPから

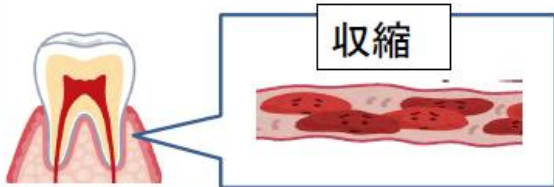
悪くなるうえ、白血球の防御機能が低下して炎症が治りにくくなりからです。その結果、歯肉がやせていき、歯肉炎や歯周炎になる可能性が大きくなります。

タバコのために、黒くかっこ悪い歯と歯茎になりたくないですね。

産業デザイン科 奥田 恭久

ニコチンの血管収縮作用

血液の流れが悪くなり、栄養や酸素の欠乏、老廃物の停滞により骨や歯肉を破壊する



歯肉の線維化

喫煙により歯肉の血管が細くなっており、炎症が抑えられるためトラブルに気づきにくい



白血球機能の抑制

喫煙により白血球の防御能力が低下し、治りにくく再発しやすい

免疫機能が弱っているから
菌が繁殖しやすい

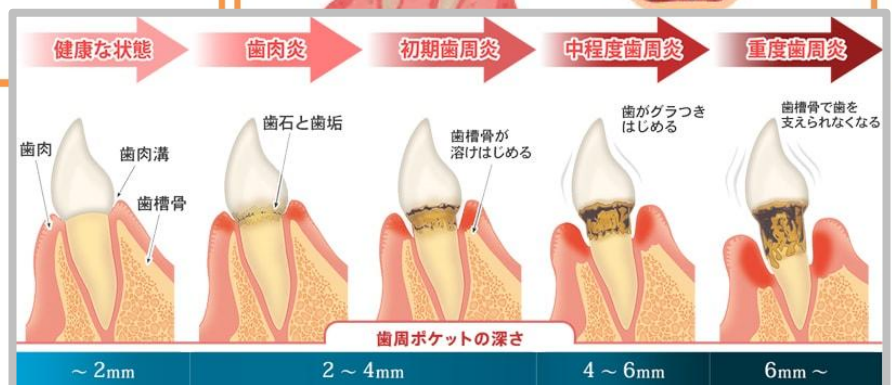


歯肉収縮機能の低下

治療の効果が現れにくい



(一社)日本口腔保健協会HPから



横浜桜木町歯科HPから